

山梨県で、遊ぶ、楽しむ、生活する

やまなしStyle

Vol. **05**
2025
Autumn



山梨県

令和7年9月1日 山梨県広聴広報グループ発行
〒400-8501 山梨県甲府市丸の内1-6-1
TEL 055-223-1338 FAX 055-223-1525

“山梨グルメ”の誘惑

～地元の美味に出会える「古民家&農家料理店」へ

■ Discover やまなし ～日本一の“パワースポット”に驚愕。
甲府から昇仙峡へのWalkingトリップへ

■ Wonderful Town Yamanashi ～どんどん変わる、山梨県の“今”を知ろう

■ さあ、Y's Lifeに ～「やまなし移住計画」指南手帳

■ やっぱり山梨が好き 卓球選手 平野美宇さん

「特集」
この秋は、山梨「古民家」で
感動時間を！



特集 Research local resources

魅力あふれる文化と歴史を堪能、地元食材に舌鼓。
遊んでもよし、泊まってもよしに大満足……

この秋は、山梨「古民家」で 感動時間を！



富士山、南アルプス、
八ヶ岳などの雄大な
自然が魅力の山梨県。
そんな美しき景観の中に、
溶け込むように建つ
「古民家宿」は、どこか懐かしく、
ゆったりとした、
心が落ち着く時間と
空間を提供してくれます。
さらに、里山の暮らしを体験できたり、
歴史的建造物の奥深さを
味わえたりと、都会にはない、
「学び」と「感動」が待っています。
この秋、家族そろって
「古民家宿」へ。
東京から、
わずか1時間半で
行ける旅は、山梨の
素晴らしいさを感じるものにな
るでしょう！



山梨県で、遊ぶ、楽しむ、生活する

やまなしStyle Vol.05 2025 Autumn



『やまなしStyle』は、電子書籍アプリ
『Catalog Pocket』でも無料でご覧い
ただけます。10ヵ国語への翻訳や読
み上げ機能にも対応しています。

01 特集／ Research local resources

魅力あふれる文化と歴史を堪能、地元食材に舌鼓。
遊んでもよし、泊まってもよしに大満足……

この秋は、山梨「古民家」で 感動時間を！

- 02 ▶ 富士山を望む、築200年の“茅葺き”古民家でYamanashiを味わう
- 04 ▶ 子どもが大喜びの農業体験と、いろりを囲んだ食事で家族の笑顔が
- 06 ▶ これぞ最高の贅沢。3世代で歴史ある“有形文化財”御屋敷に泊まる
- 08 ▶ 県内各地にさまざまなタイプの宿が。行ってみたい古民家は、ここ！
- 12 ▶ 泊まりたい宿が、まだまだある。山梨・古民家宿インフォメーション

13 “山梨グルメ”の誘惑～地元の美味に出会える「古民家&農家料理店」へ

18 Discoverやまなし～日本一の“パワースポット”に驚愕。甲府から昇仙峡へのWalkingトリップへ

Wonderful Town Yamanashi

どんどん変わる、山梨県の“今”を知ろう

- 20 「グリーン水素の聖地」に、企業が大注目！
- 21 UCC▶「水素焙煎コーヒー」を開発・発売
- 22 サントリー▶「グリーン水素」をビジネスにも

24 さあ、Y's Life に ～「やまなし移住計画」指南手帳

——革工房「Bottega Glicine」 ランドリシナ・ダニエレさん
山崎かおりさん

25 やっぱり山梨が好き File.05

「『おかえり』の音が染みる、大切なふるさと」

——卓球選手 平野美宇さん

アンケートに答えて、
「UCC水素焙煎コーヒー」
を当てよう！

本誌に関するアンケートにご回答いただ
いた方の中から、抽選で10名様に「UCC水
素焙煎コーヒー 275g×4本セット」を
プレゼント！



応募締切：2025年10月10日（金）
ご応募は2次元コードから

※いただいた個人情報はプレ
ゼント送付以外の目的には利
用しません。
※当選者の発表は、プレゼント
の発送をもって代えさせてい
たきます。



【「やまなしStyle」とは？】

山梨県外にお住まいの方々に、
“やまなし”の魅力をお伝えるメディアです。
観光で訪れるのもよし、住むのもよし、
そんな山梨県の素晴らしいさをご堪能ください。

【発行】山梨県広聴広報グループ 〒400-8501 山梨県甲府市丸の内1-6-1
TEL 055-223-1338 FAX 055-223-1525

■編集 株式会社プレジデント社
■アートディレクション キトミズデザイン
■校正校閲 株式会社ヴェリタ
■印刷・製本 株式会社サンエー印刷

表紙写真：野瀬勝一
※本誌に掲載されている画像、文章などの無断転用・無断転載はお断りいたします。



そんな宿の魅力の一つがおいしい食事。この日はニジマスのマリネ、コゴミのおひたしなどの前菜から始まり、ニジマスの刺し身、塩焼き、季節の煮物など。珍しいのはニジマスの稚魚の唐揚げ。濃厚な舌触りの刺し身とはまた違い、頭からパクリとおぼると、サクサク・ふわふわと、とてもやわらかな味わいです。

「魚は苦手で……と話していたお子さまがペロリとたいらげ、ご両親のぶんも食べてしまうのはいつもの光景です(笑)」

庭の池にはマスの稚魚、若魚、成魚が泳ぎ、運が良ければご主人がすくい上げる様子を見られるかもしれません。滋味あふれる野菜や山菜も、ほとんどが庭の畑や裏山、近くの農園でとれた地元山梨の味とのこと。

宿泊客にはリピーターが多いそう。女将の笑顔ととれたて新鮮な山梨の美味、それに富士山を間近に望む絶景を考えれば、何度も泊まりたいくなるのは当然のことでしょう。

水面に富士山を映す奇跡の池、忍野八海へはここから徒歩5分ほどの距離。Yamanashiらしい「映えスポット」とあわせて、懐かしい日本の生活を味わいに行きたいものです。



3. 希望すれば、いろりに造作されたテーブルで食事をいただくこともできる。4. 客室は全5室。すべて和室で、気取らない昔ながらの旅館の雰囲気だ。



日本の伝統旅館を紹介するドイツの本『RYOKAN』でも取り上げられている。



「木のぬくもりを感じられる家で、ぜひおくつろぎください」と笑顔で話す女将の長田裕子さん。

かやぶきの宿 鱒の家

- 山梨県南都留郡忍野村忍草195
- 0555-84-2013
- 1泊2食13,500円～(2名以上で利用時の1名あたり料金)
- 中央自動車道「河口湖IC」から車で15分、高速バス「忍野八海バス停」から徒歩5分

屋号の通り、名物はマス料理。
野菜・山菜にも地の物がたくさん



1. 夕食に供するマスをご主人が池ですくう。2. 手前から2皿目がニジマスの刺し身。その左上がニジマスの塩焼き、右上がニジマスの稚魚の唐揚げ。

富士山を望む、築200年の“茅葺き”古民家でYamanashiを味わう

名勝・忍野八海の近くにある「鱒の家」は、堂々たる茅葺き屋根が目印。背後に霊峰をしたがえた姿は、「これぞ山梨の古民家」といったたたずまいです。

文●三浦愛美／撮影●野瀬勝一



かぶとに似た屋根の形が特徴的な“甲州かぶと造り”の「鱒の家」。江戸時代には庄屋を務めた旧家で、ご当主は18代目だという。晴れれば、手が届きそうな場所に富士山が顔を出す。

富士山をバックに立つ、昔懐かしい茅葺き屋根の日本家屋。ここは築200年の古民家宿、「鱒の家」です。「代々庄屋を営んできた家を昭和40年代に改装し、宿に生まれ変わらせました。3000坪ほどある庭園の手入れは大変ですが、お客さまに喜んでいただけるのが嬉しいです」

そう語るのは、女将の長田裕子さん。家屋に一歩足を踏み入れると、サーッと心地よい風が吹き抜け、それと心通いする、10畳ほどの畳敷きの部屋が3間続き、それをぐるりと取り囲むように緑の庭園が広がっているのです。清流には魚の姿も。そして小さな滝からは、心地よい水音が響いてきます。

「ご年配の夫婦だけでなく、お子さま連れや海外のお客さまも、皆さん『不思議と懐かしい』とおっしゃるんですよ」

マス尽くしの絶品料理

ふだんから量や障子のない生活を送っているはずの小さなお子さんも、「なんか落ち着く！」と言って気に入るのだとか。

「古民家の造りに驚くお客さまも多いのですが、すぐになじんでリラックス





隅々まで探検したくなる、
古民家の楽しみが詰まった宿



4. 寝室は、布団だけでなくベッドも完備。5. 「はなれ」では、窓の外に広がる自然と鳥の声に癒やされる。この空間にこもって、ひたすら読書にふける人もいのだそう。6. アンティーク家具や骨董品が並ぶ空間に、大人も子どももワクワク。



ちかはぎ空の家 kuuhouse

- 山梨県西八代郡市川三郷町山保8400
- 090-1810-1564
- 1泊2食14,240円～（1名あたり料金。小学生未満は無料。別途、古民家賃切料金等がかかります）
- 中央自動車道「甲府南IC」から車で30分、JR身延線「市川大門駅」から無料送迎

ます。きつと家族みんなで家の隅々まで探検したくなるでしょう。
庭先を進むと「はなれ」を発見。文豪の書斎のような雰囲気引かれ、こちらに泊まる人も少なくないのだとか。他にも、子どもの好奇心を刺激する秘密基地や、街を眺望できる見晴らし抜群の丘など、親子で心を躍らせる場所がいっぱいです。
「少し足を伸ばすと魅力的なアク

ティビティを楽しめます。蛾ヶ岳ハイキングや、四尾連湖でのSUP、伝統的な手すき紙体験に、絶景温泉『みたまの湯』。希望される方には集落の小学校のご案内もいたします。地域を見て回ること暮らしのイメージが付き、移住を決めたご家族もいらつしやるんですよ」
夜はいろいろを囲み、収穫した野菜やジビエをパーベキースタイルで

味わうのが空の家の定番。火を囲み、膝を突き合わせると、自然と笑みがこぼれます。小さなお子さん連れなら支度をオーナーにお任せするのがおすすめ。お父さん・お母さんも実家のように羽を伸ばせます。
集落の人にふれ、語らい、自然に寄り添う……。そんなあたたかな時間を、大切な家族とともに体験してみたいかがでしょうか。



PART
02

子どもが大喜びの農業体験と、 いろいろを囲んだ食事で家族の笑顔が

せっかく山梨の古民家に泊まるなら、その土地ならではの経験をしてみたい……。畑で野菜を収穫できる「ちかはぎ空の家」は、そんなファミリーにおすすめ。

文●菅沼遼平／撮影●神出 暁



毎食、丹精込めて料理を手掛けてくれる「おかん」との会話も楽しい時間。

1. 旬の食材を使ったボリュームたっぷりの食事に、家族全員大満足。しょうゆやみそも手づくり。2&3. 宿から歩いて5分ほどの広い畑で取れる無農薬野菜は、「味が濃くておいしい!」と評判。野菜嫌いを克服する子どもも多いのだとか。



自然を楽しみ、味わう!

いざ玄関の戸をくぐって母屋に入ると、昔懐かしい土間やいろいろが目見え。ノスタルジックな和と見事に調和するオリエンタルな美術品や季節の草花に、思わずため息が漏れ

そう語るのは、この近萩集落に住むオーナーの鈴木夫妻。周辺地域の魅力を知り尽くす夫妻が、宿泊のお世話から地域の案内まで、ここでの滞在を温かくサポートしてくれます。
「周囲に民家はなく、聞こえるのは風や雨の音、鳥の声だけ。誰にも気を使うことなく心を空っぽにして、おくつろぎいただけます」
「周囲に民家はなく、聞こえるのは風や雨の音、鳥の声だけ。誰にも気を使うことなく心を空っぽにして、おくつろぎいただけます」

子どもから大人まで、都会暮らしの子どもの出会いは新鮮な経験です。
「周囲に民家はなく、聞こえるのは風や雨の音、鳥の声だけ。誰にも気を使うことなく心を空っぽにして、おくつろぎいただけます」
「周囲に民家はなく、聞こえるのは風や雨の音、鳥の声だけ。誰にも気を使うことなく心を空っぽにして、おくつろぎいただけます」



7. 鈴木ミキさん&ケイタさんご夫妻と、「おかん」の青柳勇子さんが笑顔でお出迎え。8. 森の中にある「秘密基地」は、子どもたちの遊び場。



岳麓翠苑

山梨県南都留郡富士河口湖町船津20-1
0555-72-2211
1泊330,000円(1棟貸し・最大6名。宿泊は12歳以上)
中央自動車道「河口湖IC」から車で10分、富士急行・高速バス「河口湖駅」から徒歩10分



す。実は井出新宅の4代目は、河口湖畔にある富士レークホテルの創業者。長年のホテル経営で培ったホスピタリティと美的センスを、この空間に注ぎ込んだのです。

かつての納戸は、今や豪華なリビング。現代の造形作家が手掛けたガラス製品や鉄のオブジェが、伝統的な襖絵とともに、空間にアクセントを加えています。吹き抜けを上げる

と、くつろぎのベッドルームが。三つある寝室すべてが「富士山ビュー」なのも山梨ならではです。

極上の手触りのシーツや部屋着、ソファの生地などは、すべて近隣のメーカーや作家さんの作品。真新しいひのき風呂や冬の床暖房もうれしい限りです。

1棟貸しだからこそ、滞在は自由自在。この秋はおじいちゃん・おばあ

ちゃんにおねだりして、今までにないゴージャスな山梨滞在をしてみたいかがでしょう。

食事は、希望に応じて地元シェフやすし職人を招いての出張料理も可能です。そのほかお茶席体験や藍染め体験などのアクティビティもあるので、希望者は予約時にお問い合わせを。普段の旅とは一味も二味も違う「極上の山梨旅」を企画できそうです。



奥座敷。床の間には花鳥をあしらった歴史的な壁紙が貼られ、富士山の軸が掛かる。その左手の付書院には見事な透かし彫りが。

まるで美術館のような宿。
アート心をくすぐる温故知新の空間



4. 付書院の透かし彫り。リスとブドウは多産の象徴で、子孫繁栄を願う伝統的なモチーフ。5. 玄関土間の上に飾られた鳶籠は、この家の2代目のお嫁さんが興入れたときに乗ってきたもの。6. 源氏物語絵巻屏風。1階の座敷と2階の廊下に飾られている。7. 杉戸の彩色画は、この家の建造当時に画僧が描いたものと伝わる。



8. 晴れた日には寝室から富士山を望める。9. ゆったり過ごせるひのき風呂。タイル装飾も凝っている。



PART
03

これぞ最高の贅沢。3世代で歴史ある “有形文化財”御屋敷に泊まる

なかなかできない「文化財に泊まる」という経験も、山梨では実現可能。江戸時代の旧家に現代のアート空間を融合させた、河口湖畔の「岳麓翠苑」へ。

文●三浦愛美／撮影●野瀬勝一



1. 土間から続く開放的な座敷。2. 門は瓦葺きの長屋門。くぐればその先に至上の空間が広がっている。3. リノベーションされた吹き抜けのリビング。伝統的な襖絵と、現代の作家が手掛けた装飾が調和する。



贅沢な1日を堪能しつくす

歴史をギュッと凝縮したような座敷の北側に回りこむと、一転しておしゃれな現代アート空間が広がります。

インバウンド観光客でにぎわう河口湖畔から一本入った路地に「岳麓翠苑」はひっそりとたたずんでいます。まるでお寺のような重厚な門には文化庁の「登録有形文化財」のプレートが。「文化財の御屋敷に泊まる」という、ほかでは味わえない経験ができる宿なのです。建物は、500年近くこの土地で歴史を刻んできた旧家・井出本家から分家した井出新宅の母屋。もっとも「新宅」といっても築200年以上あります。

岳麓翠苑は、いわば「泊まれる美術館」。江戸期に描かれた屏風絵や、中国風の彩色画が描かれた杉戸、緻密な付書院の透かし彫りに、富士山信仰の絵札や版画など……。本来ならミュージアムでガラス越しに鑑賞すべき芸術品の数々が、まるで「わが家のインテリア」のように堪能できるのです。宿泊できるのは12歳以上となっており、中高生のお子さんとつって、こうした宿でのひとときは忘れられない経験になるはずです。

県内各地にさまざまなタイプの宿が。 行ってみたい古民家は、ここ！

地元のワインを堪能したり、茅葺き屋根の下から山々を眺めたり……。自然とともにある暮らしを体感しながら、心も体もリラックスしてみませんか。



古民家宿るうふ 丘之家

- 山梨県山梨市牧丘町西保下1746
- 055-244-3895 (10:00~19:00)
- 1泊2食33,600円～(2名以上で利用時の1名あたり料金)
- 中央自動車道「勝沼IC」から車で約20分

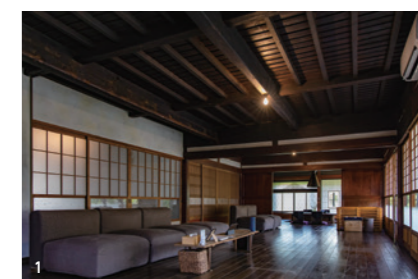
文●沼 由美子／撮影●牧田健太郎



ワインを楽しむ丘の家で、
日常を忘れて、至福の時間を



なかなか出会えない地元産ワインがたくさん並び、どれにしようか迷ってしまいそう。家飲みやお土産用で購入する方も多いとのこと。



1. 広々とした居間だから、大人数・愛犬連れでものびのびと過ごせる。2. 串焼きはすべてスタッフが丁寧に焼いてくれるから、安心してお任せできて、家族の会話も弾む。3. 肉、魚、野菜と、山梨産の美味が勢ぞろい。

地産の料理とお酒が充実

ブドウ畑を抜けて見えるのは、築105年の風格漂う一軒宿。近隣ではかつて養蚕が盛んで、この家でも当時、家屋の階上で養蚕をしていた。そのため立派な大黒柱に支えられ天井は高く、さらには都会では見られないような長い縁側もあり、のびやかな空間に子どもたちは大はしゃぎです。2階はワインラウンジとなっており、ワインセラーには、地元でつくられたワインがずらり。ソファに身を預ければ、窓の向こうに深い緑の山々が望めます。

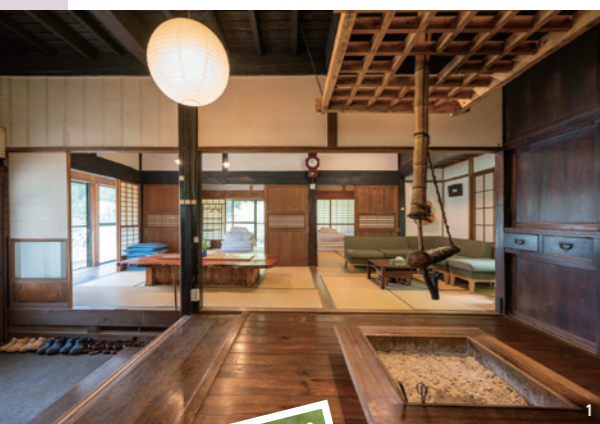
夕食は、いろりを囲んでいただきます。「囲炉裏会席プラン」は、季節の前菜や、甲州牛の赤身やヒレ、甲斐サーモンの塩こうじ漬けなど地産食材を中心とした11種類の串焼きと大満足。1棟貸しの宿は、宿泊者自身で食事を用意するところが多いですが、ここではスタッフが調理から片付けまでをサポートしてくれます。愛犬と一緒に泊まれるこの宿は、宿泊者の約8割が犬と一緒に。広々とした庭園など気兼ねなく過ごせる環境が整っており、家族みんなで夢見心地のひとときを楽しめます。

恵み多き山村での憩い

月夜見山荘が立つのは山梨県南西部、日本一人口が少ない町・早川町です。一帯は深い森に囲まれ、山を分け入るかのように進む道中の眺めは、日常からの乖離を加速させます。大阪出身の主人・鞍打大輔さんは、そんな圧倒的な自然に魅了されて1999年にこの町に移住しました。2019年の宿開業は、「自分が感銘を受けた、山村の暮らしの豊かさを分かち合いたい」との思いからです。

大正時代に建てられた古民家は、2棟の離れを含めて1日1組限定利用。水回りのほか快適な設備が整いつつも、かつての暮らしの名残であるふすまやすりガラスがくつろぎを覚えるやわらぎを生んでいます。夕食の主役となる山菜やキノコは、鞍打さんが周辺を歩いて採る山の「ごちそう」。アマゴ、ヤマメといった川魚や鹿肉などのジビエも、滋味深い味わいです。妻の佳子さんが近くで営む「おすくに」の手打ちそばは、すがすがしい締めの一品として魅了されるでしょう。多彩なキノコが並び、ジビエもうまみを増す秋には、澄んだ夜空と虫の音も、和む滞在を彩ります。

深い山に抱かれながら、
大正時代に思いをはせる



1. 鞍打さん自らリフォームした母屋は、子どもが走り回れるほど広々。2. 夕食は「いろり端でのBBQ」か、おすくにのコース料理を選択。3. 手打ちそばや季節の天ぷらなど、「おすくに」は食事のみの利用も可。



母屋は布団、2棟の離れはともにベッド。壁の一面が書棚の離れ「ぶんこ」には右手のロフト下にベッドがある。

つくよみさんそう 月夜見山荘

- 山梨県南巨摩郡早川町西之宮1094
- 0556-45-2021
- 1泊2食16,500円～(2名利用時の1名あたり料金。金・土・祝前日は別途料金)
- 中部横断自動車道「下部温泉早川IC」から車で約35分、高速バス「飯富バス停」から乗り合いバスあり

文●山内史子／撮影●野瀬勝一



奥に見えるのが母屋、その手前にあるのが離れ。母家のテラスではバーベキューも楽しめる。



写真提供：山梨家並保存会

縁側から里山の景色を満喫できる。現在、集落では果樹の栽培が盛ん。



1. 建物内は快適に過ごせるよう改修。2. 施設名の由来である旧式電話機は意匠として新設。3. 昔話に出てきそうな、茅葺き切り妻造りの母屋。一つの集落で茅葺きの切り妻造りの民家がまとまって保存されている例はまれで、地域の人が景観を守っている。



「茅葺き屋根」の家で 穏やかな癒やしのひとときを



写真提供：山梨家並保存会



ほうとうづくりは、隣に立つ納屋（体験棟）で実施。製麺機で手づくりするため、子どもに大人気。

もしもしの家

- ① 山梨県甲州市塩山下小田原1099
- ② 080-8820-9339（不在時は留守番電話へ）
- ③ 1泊料金は「基本料金（1棟貸し）」と「サービス料×人数」の合計。
基本料金（1棟貸し）＝20,000円～（曜日、シーズンによって変動）
サービス料（1名あたり）＝5,000円（小中高生2,500円、未就学児は無料）
- ④ 中央自動車道「勝沼IC」より車で30分、JR中央本線「塩山駅」から甲州市民バスで約15分、「小田原橋バス停」から徒歩20分

文●上島寿子／撮影●牧田健太郎

いろいろ縁側で、のんびりと

甲州市の上条集落は、茅葺き切り妻造りの民家がひな壇状に並ぶ集落。養蚕が盛んだった時代の農村風景が残されていることから、国の「重要伝統的建造物群保存地区」に選定されています。その古民家では、上に飛び出た「突き上げ屋根」も特徴です。これは養蚕のための採光と通風を考慮した伝統様式であり、まとまって現存する地域は貴重なのだとか。

そんな集落での暮らしを泊まって体験できるのが、「もしもしの家」です。ユニークな名称は、かつてこの家にだけ電話があったことに由来。江戸末期に建てられた母屋の1階には、いろいろのあるテーブルが置かれ、縁側で和めば、タイムトリップできそうです。「上からの景色も素晴らしいですよ」と、施設を運営する「山梨家並保存会」の内田さんと養蚕に使われていた2階へ。大きな窓からは、ブドウ畑が織りなす風景を一望！この絶景も突き上げ屋根の賜物です。宿泊は1棟貸し切り（7名まで）で、ほうとうづくりなどの体験メニューも用意。家族や友達と過ごせば、飛び切りの思い出をつくれそうです。

村からの歓迎に心ほぐれる

JR大月駅から送迎の車に乗って30分ほど揺られると、まるで日本昔話のような世界が広がります。周囲をぐるりと深い山に囲まれた小菅村は、多摩川の源流域に位置する土地柄、空気は別格のおいしさ。思わず深呼吸を何度もしてしまいます。人口700人の村全体をホテルと捉え、「700人の村が一つのホテルに」をコンセプトに誕生した古民家「NIPPONIA 小菅 源流の村」です。メインの建物は、主に2種類。

築150年を超える名家をモダンリノベーションした「大家」では、重厚な佇まいに緑滴る日本庭園が見事。静謐な山里に抱かれ、夜はたき火に癒やされる時間を通して、ゆるゆると心身が溶けていくようです。もう一つの「崖の家」は、その名の通り急峻な谷間に面しており、広々とした窓からは目の前に山の景色が広がります。昼にはシカが、夜には満天の星も眺められるとか。電動自転車で村を巡り、温泉や魚つり、畑の収穫体験なども。日本の原風景を村人たちに教えてもらえば、得難い経験となります。



4&5. 村の人々が愛してきたという「大家」は、林業と養蚕で栄えてきた村の歴史を感じられるラグジュアリーな空間。



村民との交流で村の文化や風習、自然を案内してもらえることも。



写真提供：NIPPONIA 小菅 源流の村

日本の原風景を感じさせる村で、 土地ならではの暮らしを体験！

NIPPONIA 小菅 源流の村

- ① 山梨県北都留郡小菅村大久保3155-1
- ② 0428-87-9210（9:00～18:00）
- ③ 「大家」1泊2食35,000円～（2名利用時の1名あたり料金、中学生以上）
「崖の家」1泊27,000円～（2名利用時の1名あたり料金、食事は別途オプション）
- ④ 中央自動車道「大月IC」より車で30分、JR中央本線「大月駅」から無料送迎あり

文●三浦愛美／撮影●牧田健太郎



1&2. 「崖の家」は眼前に広がる大パノラマで、山の景色を堪能できる。キッチンでは近くの畑で収穫した野菜、地元ワインやクラフトビールに合わせたメニューから厳選・調理も可能。3. 山あいに位置する小菅村には、昔ながらの里山の雰囲気が残る。





ハケ岳の素材の贅を尽くした
絶品イタリアンに感服



築約170年

ふらここ食堂

1. 甲州富士桜ポークとハケ岳天然きのこのラグーソースのタリアテッレ2,100円。2. ハケ岳ジビエ・鹿肉のローストは夜のコース6,000円〜に。県産ワインも充実。



店内は北杜市の木を使って改修。養蚕場だった2階も客席に。

※ランチは3種類のセット（ランチコースを含め）、ディナーは2種類のコースとアラカルトを用意。コースは前日までに電話で予約を。



● 山梨県北杜市大泉町谷戸3589
☎ 0551-45-7227
🕒 11:30～14:00 (L.O.)
17:30～20:00 (L.O.)
📅 月曜、火曜（別途不定休あり）

きのこの滋味が自家製タリアテッレに絡まり、優しい味わいを奏でます。コースのメイン料理になるジビエもハケ岳産。鹿も肉のローストは火入れが絶妙で、かむたびにピュアなうまみがほとばしります。

オーナーシェフの高橋昭浩さんは、東京の会員制イタリアンで腕を鳴らした料理人。旅の途中で出会ったこの地を見初めて、17年前に家族で移住してきました。約500坪の敷地は桜の巨木や山野草が彩り、四季折々に変わる景色も楽しみの一つ。古民家で舌鼓を打てば、体も心もリフレッシュできるでしょう。

NO. 03

Gourmet

“山梨グルメ”の誘惑

時を重ねた空間で味わう、地の恵みが詰まった一皿。「五感が喜ぶ」特別なひとときを楽しめます。

文●上島寿子 ラードジャーナリスト／撮影●野瀬勝一

「地元の美味に出会える「古民家&農家料理店」へ

泊まりたい宿が、まだまだある。 山梨・古民家宿インフォメーション

民宿北の勢堂

- 山梨県南都留郡道志村東神地9147
- ☎ 0554-52-2102
- ¥ 1泊2食13,000円～（1名あたり料金。1棟貸し・定員は2名～20名）
- 📍 中央自動車道「都留IC」から車で30分、富士急行線「都留文科大学前駅」から無料送迎（要予約）



写真提供：株式会社リパティ

“甲州かぶと造り”のこの古民家は、築180年以上の歴史あるその姿とともに道志村の大自然を楽しめるのが魅力。清流・道志川が育んだ素材で調理される夕食は、まさに山梨ならではの。米や、汁物のみそも「民宿北の勢堂」自家製です。感動の一夜をどうぞ。

農家民宿 古民家なかや

- 山梨県北杜市須玉町下津金2461
- ☎ 090-2912-6464
- ¥ 1泊2食8,000円～（1名あたり料金。各体験、飲み物の費用は別途）
- 📍 中央自動車道「須玉IC」から車で15分



写真提供：農家民宿 古民家なかや

江戸時代後期建築で、県内外のボランティアによって再生された、農林業体験や四季折々の田舎暮らし体験ができる施設。北杜市への移住相談で宿泊される方も多とか。現在は移住仲間とイベント企画や懇親会、地域の援農活動も行う交流拠点です。

御宿 河内家

- 山梨県南都留郡富士河口湖町河口1521-2
- ☎ 080-5375-4077
- ¥ 1泊122,500円～（1棟貸し・最大8名）
- 📍 中央自動車道「河口湖IC」から車で15分、富士急行バス「河口駐在所バス停」から徒歩約3分



写真提供：御宿 河内屋

河口湖畔の近くにひっそりとたたずむ、一棟貸しの宿。日本家屋の趣ある雰囲気と快適性を両立したレトロモダンな空間は、高級感たっぷり。縁側からは富士山が望め、なんとも爽快。人工芝の庭園はドッグランにもなるため、ペット連れの方にもおすすめです。

光荘

- 山梨県南都留郡道志村7606
- ☎ 0554-52-2057
- ¥ 1泊2食12,000円～（1名あたり料金。1棟貸し・最大30名）
- 📍 中央自動車道「都留IC」から車で35分、東名高速道路「御殿場IC」から車で50分



写真提供：株式会社リパティ

自然あふれる道志村にある「光荘」は、築500年の古民家。当時のはりや木材が多く残っており、歴史を感じる独特の趣が楽しめます。道志村産の食材をふんだんに使った特製料理は絶品。特に、すぐそばを流れる道志川で取れたニジマスは格別の味です。



築約100年

農café ZENCHO

築100年近い建物を身延町の憩いの場となるカフェとして再生。店名は往年の店主「望月善長」の名に由来している。

1. 文化庁「100年フード」に選出されたほうとうパスタは3種あり、写真は爽やかな食べ心地のほうとうトマトソース1,250円。ほうとうカルボナーラ、ほうとうミートソース各1,250円も人気がある。2. あけぼの大豆のきな粉を使った、みのぶカナレ250円は優しい味わい。自家製ホットゆず600円と。3. 寺ビール800円はお土産にも人気。カフェでは南アルプス市産のソルダムをビュレにして割ったすももビール900円も味わえる。



「ほうとうパスタ」「寺ビール」は「身延山久遠寺」参道の新名物



▲ 山梨県南巨摩郡身延町身延3955
☎ 0556-64-8081
🕒 10:00～17:00
金曜、土曜、日曜は10:00～20:00
🚗 無休

メニューのテーマはローカルガストロノミー。山梨の郷土料理であるほうとうは、カジユアルなパスタにアレンジされています。トマトソースが絡むもちもちの麺は食べ応え満点。人気のカナレには、身延特産あけぼの大豆のきな粉のフレーバーも。さらにお寺発祥クラフトビール「寺ビール」も飲むことができます。身延参りの途中に立ち寄って、地元愛あふれる味をご堪能あれ。

身延山久遠寺の総門をくぐって徒歩5分ほど。一棟貸しの宿「迎賓館えびす屋」と同じ敷地に立つのが「農café ZENCHO」です。「開店したのは宿と同じ2020年。造り酒屋を営んでいた地元の名家の邸宅を宿にし、蔵人などの休憩所だった建物をカフェにしました」と運営する「鶴林精舎」の代表で「行学院覚林坊」の女将でもある樋口純子さん（左写真・中央）。



2019年に開店したカフェは、海外のアンティークも取り入れた洗練された雰囲気。庭の緑が目を楽しませる。

築約130年

黎明荘



1. 牛すじ煮込みカレー1,800円は、ブドウの優しい甘みとスパイスが調和し、大人からも子どもからも愛されている。サラダ付きでドリンクもセットに。2. 色鮮やかな自家製すもものソーダ650円も人気。3. 桃たっぷりサンデー850円。アイスクリームの底に自家製スモモジャムが潜む。コーヒー400円と一緒にゆったりとした時間を楽しみたい。

※ランチタイムは11:30～14:00、カフェタイムは14:00～16:30。前日までは、店の公式ウェブサイトですべて予約可能。当日の予約は電話にて対応。



「黎明荘」は日本一の桃の里、笛吹市にある古民家カフェ。

築130年近い建物はセンスよくリノベーションされ、「和と洋と、今と昔がつながる場所」というコンセプトが具現化されています。

接客や調理にあたるのは藤巻淑子さんと二男の天盛さん、三女の八重さんですが、果樹農家の父と長男が育てた果物を活用したり、長女の焼き菓子をお土産に販売したりと家族一丸となって切り盛りしています。

牛すじ煮込みカレーはこの店の看板メニュー。自家農園のブドウを煮詰めたピュレを加え、奥行きのある味わいに仕上げています。デザートには桃のサンデーを。コンポートの桃は自家農園産で、程よい歯応えとフレッシュ感を満喫できます。聞けば、この建物は公民館的に使われた時代も。今も人が集まる場所として、往時のにぎわいを残しています。



▲ 山梨県笛吹市御坂町竹居3304
☎ 055-236-8965
🕒 11:30～16:30 (L.O.16:00)
金曜は11:30～15:00 (L.O.14:30)
🚗 月曜、火曜、水曜（別途不定休あり）



オモニの愛情つまった
家庭的な韓国料理を満喫



居心地のよいノスタルジックな店内。「韓国の調度品は日本の古民家に馴染みます」と安さん。奥には風趣に富む坪庭も。

1. カムジャチヂミ2,700円は、ジャガイモの千切りがたっぷり。甘酸っぱいタレで味わう。2. 参鶏湯1,600円は昼の定番。鶏肉に高麗人参などの漢方と米を詰め、2日かけて煮込む。タマネギの甘みを効かせるのが安さん流とか。3. 夜はマッコリ3種飲み比べ1,800円を用意。左から、すっきりキレのよい“生マッコリ”、赤米を使った甘酸っぱく微発泡の“ソン マッコリ”、穀物香がどこか懐かしい黒豆仕込みの“イドン マッコリ”。



築約80年

ア ッ テ ィ ハ ウ ス
atti HOUSE



写真提供: atty HOUSE
● 山梨県甲府市中央2-12-19
☎ 070-2612-3678
🕒 11:30~14:30
17:30~21:30 (夜は予約制)
🗓 日曜、月曜

「atty」とは韓国語で「愛」の意味。時代も国境も超えたつながりが、心までほっと癒やしてくれます。

ビルが立ち並ぶ甲府の中心街で異彩を放つのがこの店。古式ゆかしい日本家屋は築約80年。木塀、格子戸、瓦びさしなどタイムスリップしたかのよう。日本情緒豊かなこの古民家で味わえるのが、韓国の家庭料理というのも驚きです。

「日本と韓国の古い建物は似ていて、私には懐かしさがあるんです」と韓国出身のオーナーの安鎮淑さん。メニューに並ぶのは安さんが親しんできた味ばかり。ランチの参鶏湯は体に染みる滋味で、ナムルやキムチなど小皿を添えるのも本場式です。

一方、夜はマッコリなどのお酒と一品料理を楽しむスタイルに。チーズやベビリーフを散らしたモダンなカムジャ(ジャガイモ)チヂミはおつまみにぴったりです。



棚田米を使った米粉むしパンと
ワインとのマリアージュを

ワインとむしパン 月晴れる

築約100年



カフェに生まれ変わった古民家は築100年以上。雨戸を外した窓から棚田の絶景をパノラマで楽しめる。畳は本い草に張り替え、しっくい壁は自分たちで塗ったとか。裏手にはワイン用のぶどうを干す小屋も。



1. お母さんのむしパン650円は、英雄さんの思い出の味。与那国島と波照間島の黒糖が添えられる。合わせるワインは「ドメヌ ヒデ」の“愛してるスパークリング2024”グラス1,200円がオススメ。2&3. “華やかお野菜プレート”2,600円は、ナチュラルワインの野菜煮込みやニンジンラベなど盛りだくさん。毎週3品が入れ替わる。一釜ずつ炊くご飯は棚田米のコシヒカリ。さらに、ナチュラルハーブサラダと旬のボタージュスープが付く。



● 山梨県南アルプス市中野316
☎ 055-267-6923
🕒 11:30~13:30 (L.O.)
14:00~16:00 (L.O.)
🗓 火曜、水曜、木曜

この店に込められたのは「棚田を守りたい」という夫妻の思い。山梨の魅力を再発見させてくれます。

一方、ランチの“華やかお野菜プレート”では、県産野菜を使った料理と一緒に炊き立てのご飯を堪能。プレートには手間暇かけた8品前後が並び、満足感はひとしおです。

この店に込められたのは「棚田を守りたい」という夫妻の思い。山梨の魅力を再発見させてくれます。

一方、ランチの“華やかお野菜プレート”では、県産野菜を使った料理と一緒に炊き立てのご飯を堪能。プレートには手間暇かけた8品前後が並び、満足感はひとしおです。

Discover
やまなし

日本一の「パワースポット」に驚愕。
甲府から昇仙峡へのWalkingトリップへ

陽光きらめく大滝、そびえる岩峰……、ご利益と癒やしに満ちた溪谷をゆったり歩こう。

やきぶろうたけ
弥三郎岳



写真提供：昇仙峡ロープウェイ

昇仙峡ロープウェイのパノラマ台駅から歩くこと約10分。弥三郎岳の頂上付近は急峻な岩場をよじ登ることになるので、トレッキングシューズや登山靴などの用意を。

かくえんぼう
覚円峰



昇仙峡の主峰である高さ約180メートルの巨大岩。その名は僧侶・覚円が山頂で修行した伝説に由来。

せんがたき
仙娥滝



落差約30メートルの壮麗な滝！ 晴れた日は虹が出ることも。滝の上流エリアには食事所や天然石を販売する店が並ぶ。



甲府駅近く、趣のある町並散策を

甲州夢小路



JR甲府駅に程近い、かつての城下町の街並みを再現した商業施設「甲州夢小路」と「小江戸甲府 花小路」。県産食材を提供する飲食店、甲州ワインや印伝などの名産品を扱うショップ、美術館などが軒を連ね、本格的な食事や買い物、散策を楽しめる。甲府駅近隣を含め、甲府市内には宿泊施設も充実しているので、昇仙峡ウォーキングとともにグルメやショッピングも楽しみたい。

小江戸甲府 花小路



かなざくら
金櫻神社



甲府市最高峰の霊山・金峰山がご神体。山岳信仰の古社で、武田信玄ら戦国武将の崇敬も集めた。病気平癒、金運上昇のパワースポットとしても有名。

📍 山梨県甲府市御岳町2347 📞 055-287-2011

石門



巨大な花こう岩が積み重なって、アーチが形成された石門。溪谷に横たわるさまざまな形の奇岩は昇仙峡の見どころ。



昇仙峡までのアクセス



甲府駅から昇仙峡まで公共交通機関（路線バス）を利用する場合、車で向かう場合、それぞれのアクセスについては、「昇仙峡観光協会」ウェブサイトの詳細情報が紹介されているので、事前に確認を。

見どころは山頂からの絶景

花こう岩の岩峰と溪谷美が素晴らしい甲府市北部の「昇仙峡」は、いにしへの修験者が修行に励んだ日本屈指のパワースポットです。週末、リフレッシュをかねて、1泊2日で開運を願うに向かうことに。

まずは、昇仙峡の三大シンボル・仙娥滝、石門、覚円峰を巡る長さ3キロメートルの散策路を歩きます。神秘を感じる山水画のような眺めに、心が洗われ、見入ってしまいます。

さらにロープウェイに乗って山頂のパノラマ台駅へ。昇仙峡最大のパワースポットといわれる弥三郎岳を目指します。足元を確認しながら岩場を上って、巨大な一枚岩に到着。眼前には富士山、南アルプス、金峰山、甲府盆地などが広がります。その絶景を眺めると、気持ちがスッと軽くなるようです。また、昇仙峡から少し足を延ばして金櫻神社に寄ると、心が癒やされ、活力が湧いてきました。

このようなすてきなパワースポットに、思い立ったらすぐに行ける。甲府駅からも高速道路からもアクセスしやすいこのエリアへの旅は、自分を整えるのにぴったりでした。

「グリーン水素の聖地」に、企業が大注目！

「やまなしモデルP2G (Power to Gas) システム」で生み出すグリーン水素が、カーボンニュートラルに貢献する……

石油、天然ガス、原子力、再生可能エネルギーと、私たちは新たなエネルギー源を発展させてきた。そして今、21世紀に加わりうとしているのが「水素エネルギー」である。

「私たちの生活を豊かにしてきた石油や天然ガスは、一方で地球温暖化を引き起こしました。その点、再生可能エネルギーは自然由来で環境にやさしいけれど、持ち運びや安定供給が難しい。そんな中、第3の道として世界から注目を集めるのが、『グリーン水素エネルギー』なんです」

説明してくれるのは、山梨県で長年水素関連事業に携わってきた宮崎和也さん（山梨県知事政策補佐官）。

「『やまなしモデルP2G (Power to Gas) システム』は、太陽光発電などの『電力 (Power)』を『ガス (Gas)』に変え、『変換・貯蔵・利用』する仕組みのこと。水素社会を実現するカギです」

ただし、いまだ課題もある。エネルギーを水素に変え、運んだ先で利用するには依然としてコスト

トが高く、どんな使い方がもっとも効率がよいのか、研究＆実証実験の真つ最中なのだ。

「水素社会」実現に向けて、
「仲間」が山梨に集結！

「山梨県が水素研究に本腰を入れ始めた2016年当時は、『なぜ水素なのか？』という疑問の声も大きかったです。それがここ2、3年で様変わりしました。国内ではさまざまなプロジェクトが進められており、最近ではありがたいことに『山梨の水素を使わせてほしい』という問い合わせも増えています」

すでに水素エネルギーに関する基礎的な研究や技術開発の土台は構築できた。続く「フェーズ2」では、その歩みをさらに加速し、2040年までに社会実装を目指す。そしてその先の「フェーズ3」では、広く世の中に水素エネルギーを安定供給するのが目標だという。

「人類にとって新しいエネルギーの

「やまなしモデルP2G (Power to Gas) システム」とは？



山梨県知事政策補佐官
宮崎和也さん

仕組みをつくるには、自治体だけでは力が足りません。産業界、大学、研究機関、さまざまな知見と技術と力を合わせる。つまり熱意をもつ仲間たちが必要なんです」

そんな宮崎さんの思いに呼応して、サントリーHD株式会社やUCCジャパン株式会社、株式会社コーセイや、プラントメーカーのカナデビア株式会社など世界的企業が、続々と山梨の水素産業に参画している。

「夢は山梨県が水素社会の中心地になることです。水素を学びたければ山梨に行け」。そう言われるような未来を本気で目指しています」

盛り上がるな～
山梨県



©YAMANASHI / nakanogumi

UCC「水素焙煎コーヒー」を開発・発売

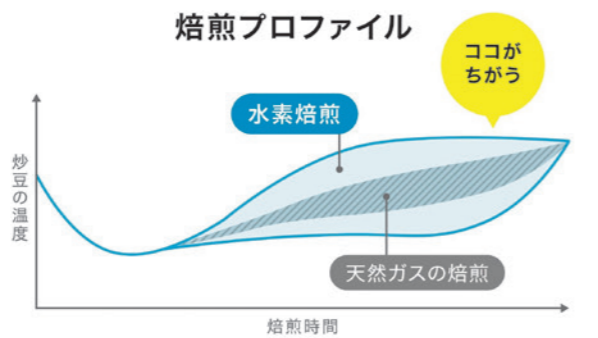
今までになかったクリアなまろやかさ……。水素の力による繊細な温度調整で生み出した、新しいおいしさ

コーヒーの飲み比べをするとう。一つは従来のガスを熱源に焙煎したコーヒー。もう一つは水素を熱源に焙煎したコーヒー。正直「水素焙煎」と聞いてもピンとこないだろうが、ひと口飲むと、その差は歴然。ガス焙煎も安定のおいしさだが、水素焙煎はこれまで味わったことのないクリアなまろやかさとなっている。

「水素焙煎を試みる前に経営陣から言われたんです。『単に、地球にやさしいだけではダメ。水素だからこそおいしい！を必ず実現しろ』と。これが実に難しかった！」

UCCサステナビリティ経営推進本部長の里見陵さんは、こう振り返る。

温度帯の幅広さが水素焙煎の特徴



水素焙煎は、高温から低温までの幅広い温度調節が可能のため、独自の味わいを生み出すことにつながった。

1. UCCが「富士工場」に導入した、大型水素焙煎機である「HydroMaster」。2. 4月に販売した水素焙煎コーヒーの商品群。(写真提供: UCC ジャパン)

水素焙煎の可能性が 新しいおいしさを

コーヒーの生豆は高温で加熱することで化学変化を起こし、コーヒー独自の香ばしさや酸味・苦みなどの風味を生む。工業用の大型焙煎機は、現在、ほとんどすべてがガス焙煎だという。

「今は企業でもCO₂排出削減が求められる時代ですが、弊社でCO₂排出のトップは焙煎工程。ここを何とかしようと電気焙煎も検討しましたが、焙煎に必要な微細な温度調節が電気だと難しい。そこで新たに注目したのが水素焙煎でした」

これまで扱ったことのない新燃料の特性を調べるため、バーナーメーカー・焙煎メーカー・UCCの3社で研究開発が始まった。

「通常のガス熱源だと温度は右肩に直線的に上がりますが、水素だと前半を弱い火力で寝かせ後半で一気に加熱なども可能です。多彩なコー

ヒー豆と温度調節を掛け合わせることで、味覚の幅が格段に広がりました」

折しも山梨県では水素関連事業が本格化し、NEDO[※]の助成による大規模実証事業がスタート。米倉山でつくられたグリーン水素を仕入れ、富士工場に導入した大型水素焙煎機で、年間6000トン(5億杯分!)の焙煎体制が整った。

道のりを振り返りながら「我々は先兵だと思っている」と里見さん。

「エネルギーの価値は目に見えない。たまたま私たちは『コーヒーの味』という付加価値で『水素を体感』できるようにしました。ありがた

いことに、多くのホテルやレストランから高評価もいただいています。グリーン水素市場が広がれば、コストはグッと下がります。まずは私たちが需要創出の一步に貢献できればうれしいですね」

「水素の力」を、ぜひ味わいたい。



水素焙煎エチオピアイルガチエフェ地方産コーヒーはフルーティーで、コクと甘さが特徴。

※国立研究開発法人 新エネルギー・産業技術総合開発機構／エネルギー・地球環境問題の解決や日本の産業技術力強化のため、技術開発を支援する政府の機関である。
やまなしStyle | 2025 Autumn

サントリー「グリーン水素」をビジネスにも

使うだけでなく、水素を製造し、物流・販売までの全体を担っていく。そんな同社のビジョンを知る



現在、グリーン水素製造装置「P2G (Power to Gas) システム」がサントリー天然水 南アルプス工場およびサントリー白州蒸溜所の隣地に建設されている。
(写真提供: サントリーホールディングス)

サントリー天然水 南アルプス工場
およびサントリー白州蒸溜所は、周囲を広大な森林に囲まれている。南アルプスの清らかな森と水がなければ、天然水やシングルモルトウイスキー「白州」も、この世に誕生しなかっただろう。

「自然へのご恩返し」の気持ちもあり、サントリーは1973年から愛鳥活動、2003年から森林整備活動「サントリー天然水の森」を続けてきました。森と水と、生き物の生命は循環しています。まさにコーポレートメッセージにもある『水と生きる』そのものです」

同社・サステナビリティ経営推進部長の藤原正明さんは、山梨との「縁」をこう表現する。昨今は欧米発のSDGsが注目されがちだが、「サントリーはずっと昔から山梨の人々と一緒に、自然との共存を追求してきたんです」と胸を張る。

藤原さん自身、実はかつて白州の天然水工場の建設に関わってきた経

歴を持つ。人一倍、白州には強い思い入れを持っているのだという。「山梨が大好きなので、これまでに合わせて4年くらい住んでいるんですよ(笑)」

水から生まれ、水に還る 究極の循環を実現する

サントリーの飲料商品は日本人の生活になくてはならぬ存在だ。一方で、製造工程では多くのエネルギーを使うため、再生可能エネルギーに切り替えられる部分は切り替えてきたが、賄えない工程も存在する。

「例えば『サントリー天然水』は、殺菌工程に蒸気を使います。現在は、液化天然ガス(LNG)を使用しているんです」

だが、LNGは使用時だけでなく、輸入の輸送時にもかなりのCO₂を排出する。

「もし山梨でグリーン水素エネルギーができれば……、会社全体、いや、社会全体で大きくCO₂削減

を実現できるはずです」

そしてサントリーは、山梨県からの声かけにより、2022年に、山梨県とタッグを組む技術開発会社9社と一緒に、国内最大級のグリーン水素製造装置「やまなしモデルP2G (Power to Gas) システム」を建設する



「サントリーグリーン水素ビジョン」より
(写真提供: サントリーホールディングス)

計画に参画したのだ。その後、サントリー単独でもグリーン水素の検討を本格的に始め、2025年6月に「サントリーグリーン水素ビジョン」を発表。

この「ビジョン」が世間に驚きをもって受け止められたのは、「単に水素を使うだけでなく、水素を製造し、物流・販売までバリューチェーン全体を担うこと」が目指されていたからだ。つまり創業以来120年超、「食品酒類総合企業」として輝かしい実績を誇ってきた企業が、突如「グリーン水素エネルギー」の生産・販売にも着手するということだ。

「使う」ステージから 「つくって・売る」へ

消費者に「おいしさ」や「感動」を届ける企業であるサントリーが、「グリーン水素をつくって売る」事業に参画、これは、日本で一番のりでも

ある。

まさに創業者、鳥井信治郎氏の「やってみなはれ」精神が受け継がれてきていることを実感させられる。

「でも、決して夢物語ではないんですよ。『グリーン水素エネルギー』と聞くと、多くの人は驚いたような顔をしますが、すでに水素の製造・貯蔵に関しては、『やまなしハイδροジェンカンパニー』(山梨県・東京電力HD・東レによる合弁会社)を主軸に、実証実験フェーズが済んでいます。だとすれば、次なる課題は利用、そして大規模な輸送ステージです。そこにこそ我々が参画する意義があると思っています」

たしかに企業規模も知名度もダントツの企業が水素製造・販売事業に乗り出せば、「あのサントリーが？」と世間の注目も集まるだろう。これまでさまざまな形で地球環境の社会貢献を行ってきた同社だからこそ、

どんどん変わる、山梨県の“今”を知ろう

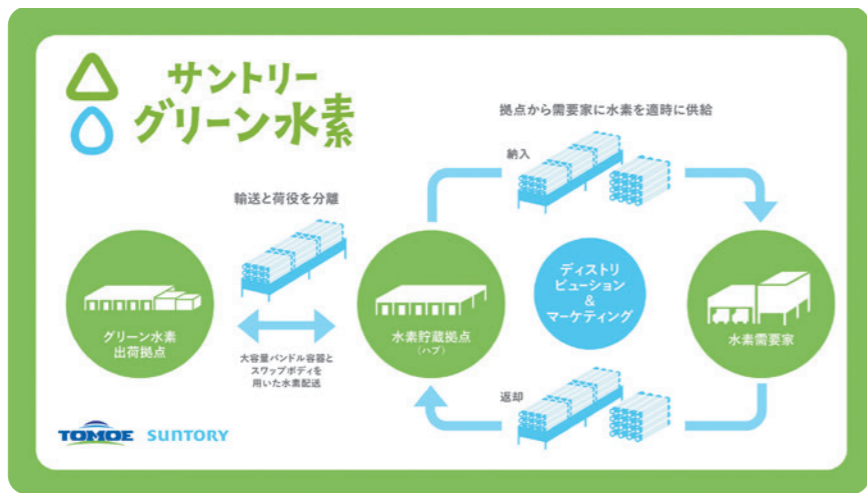


サントリーホールディングス株式会社
常務執行役員
サステナビリティ経営推進本部長
藤原正明さん

山梨県は、
活気があるな～



©YAMANASHI / nakanogumi



「グリーン水素」ビジネスは、このように展開
(写真提供: サントリーホールディングス)

「社会貢献」×「マネタイズ」への第一歩は大きな意味を持つ。
藤原さんは「いずれ世界は水素社会に移行していく」と確信しているという。

「日本はエネルギーの自給率も低く、世界で紛争や災害があれば、エネルギー価格や輸入量も翻弄されてしまいます。そんなエネルギー資源の乏しい日本だからこそ、水素エネルギーが次の一手になるはずです。私たちは昔から豊かな太陽の光や豊富な水の恩恵にあやかってきました。21世紀はこうした恵みが、持続可能な「エネルギー源」の一つの選択肢になってくると思います」

もっとも一朝一夕にして「水素社会」はやってこない。まずは首都圏に近い立地ポテンシャルを生かせる山梨から成功モデルをつくる。そこで「グリーン水素エネルギー」が実際に活用可能と知ってもらうことで、需要と供給は広まっていくだろう。

「将来的には、日本各地で水素を製造する工場が生まれ、エネルギーの地産地消を実現するのが『大きな夢』です。そのためには私たちが、山梨の皆さんと頑張らなくてはなりませんね(笑)」

水と生きる未来が始まっている。

やっぱり山梨が好き

File.05

平野美宇さん 卓球選手

「おかえり」の声が染みる、大切なふるさと



初めてユニフォームを着て練習に臨んだ、幼少期の平野選手。

山梨は、私の卓球人生が始まった場所です。2歳のときに山梨県中央市(当時は中巨摩郡田富町)に移り住んだ私は、3歳からラケットを握りました。自宅の2階に母が指導する卓球教室があったので、毎日遊ぶように練習していましたね。

その頃から、私にとって卓球は「歯磨き」と同じ、生活の一部でした。サーブの練習をしてから学校へ行き、帰ってからも大人を相手に遅くまでラケットを振っていましたね。放課後に友達と遊んだ覚えがないほど卓球に夢中でしたが、小学校時代の同級生とは大人になった今でも一緒に出かけるほど仲良し。世界選手権で初めてメダルを取ったときに同級生みんながくれた寄せ書きは、かけがえない宝物です。

休日には、両親に公園や図書館によく連れて行ってもらいました。中央市の「シルクの里公園」にあるふわふわのドーム「まゆの丘」で、妹たちと思いつきり跳びはねたのが懐かしいです。本を読んだり、ぼーっとできたりする静かな「田富図書館」もお気に入りの場所。幼稚園・小学校と、山梨の豊かな自然の中で育ったおかげで、心身とも健やかに成長できたと感じています。

先日、母校の田富北小学校を久々に訪ねてみると、校舎が見違えるほどきれいになっていてびっくりしました。でも、校庭に流れる空

気はあの頃のまま。かつての私のように元気に走り回る子どもたちの姿が想像できて、なんだかうれしくなりました。

“戦う力”をくれる私のホーム

現在、活動の拠点は神奈川県ですが、年に一度は山梨に帰るようにしています。帰省すると必ず食べたくなるのが郷土の味。「甲州ほうとう 小作」の「かぼちゃほうとう」は長年のお気に入り、だしに溶け込んだかぼちゃの甘みが体に染み渡る一品です。

また、お店の料理もよいですが、やっぱり恋しくなるのが母の味ですね。地元農家さんの新鮮な農作物が並ぶ直売所「た・から」で買った野菜がたっぷりのご飯は、何よりのごちそうです。それから、山梨を語るうえでフルーツは欠かせません。最近の一推しはシャインマスカット。パリッとした皮の食感と、爽やかで甘い果肉は格別。贈り物にも、自分へのご褒美にもぴったりです。

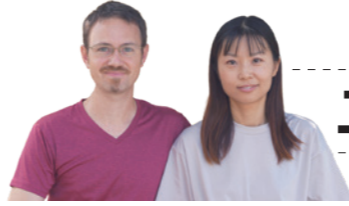
私は山梨の人たちの温かさにもいつも励まされてきました。皆さんが家族のように迎えてくれて、「おかえり」と言ってくれる。その優しさが、いつも私の背中を押してくれます。これからも競技と向き合いながら、私に力をくれる山梨の魅力を、感謝を込めて伝えていきたいですね。



木下グループ所属。2000年生まれ。山梨県中央市出身。卓球選手だった両親の影響で3歳から卓球を始める。小学校1年生で全日本選手権(パンピの部)の女子シングルスで優勝。2017年の全日本選手権では史上最年少優勝し、同年のアジア選手権でも金メダルを獲得。2021年の東京五輪、2024年のパリ五輪では女子団体で銀メダルを獲得した。戦型は、右シェークドライブ型。

05

革工房「Bottega Glicine」
ランドリシナ・ダニエレさん
山崎かおりさん



ローマで結婚し、笛吹市へ。 二人三脚で革細工製作に邁進



Bottegaはイタリア語で「工房」、Glicineは「藤の花」の意。キーホルダーや名刺入れといった革小物などを一点一点丁寧に製作している(左・笛吹市境川町前間田631-2)。長男は時々、ランドリシナさんと一緒に工房で革細工づくりに挑戦(中)。「休みの日など、息子と一緒にマウンテンバイクで自宅近くの山を走るのが楽しいですね」とランドリシナさん(右)。



若い頃、吉田兄弟の津軽三味線に衝撃を受け、日本に憧れを抱いていたイタリア・ローマ出身のランドリシナ・ダニエレさん。当時、イタリア語を学んでいた山崎かおりさんと、共通の知人を通して知り合い、SNSでのやりとりや遠距離恋愛を経て、ローマで結婚生活を始めました。

来日前、IT企業でプログラマーとして働いていたランドリシナさんですが、「もっと自分らしい生き方を」という思いが募り、革職人への転身を決意。母や祖父母が革職人だったこともあり、ものづくりの楽しさは幼い頃から感じていました。

その後、2013年に、かおりさんの母が暮らす山梨県笛吹市へ移住。革細工の工房「Bottega Glicine」を立ち上げ、本格的に職人としての道を歩み始めました。現在は、ランドリシナさんが革細工の製作を、かおりさんが主に工房のウェブサイトの運営などを担当しています。

移住後、念願の工房を構え、自然に囲まれた時間を満喫

そんな中、2016年に長男が誕生したことをきっかけに地域との関わりが深まり、今では近所の人たちとの交流が、家族の日常に温かい安心感をもたらしてくれるそうです。

山梨での暮らしは、子育ての面でも多くの魅力があると話します。

「山や川がすぐ近くにあり、自然がとても豊か。9歳と7歳の息子たちも、のびのびと遊べる環境です。休日には家族で山や公園に出かけて、マウンテンバイクを楽しんでいます。山梨は自然が豊かで、都心にも出やすいのがいいですね。たまに都会の空気を味わいたい人には、理想的な移住先だと思います」

工房からは八ヶ岳や北岳、南アルプスまで見渡すことができ、その雄大な風景から創作のインスピレーションを受けています。

工房に訪れるお客さまとのやりとりも、楽しみの一つ。カーナビに従った結果、桃畑の中に誘導されてしまい、迎えに行くこともあるそうです。そんなハプニングが縁となり、何度も訪れる人もいます。

革細工を通して地域とつながりながら暮らすランドリシナさん・かおりさん夫妻の生活は、これからもさらに広がりを見せていきそうです。

現在利用できる
オスメ制度

移住支援金

単身者 60万円

世帯 100万円

子育て世帯
加算 最大
100万円



詳細は山梨県の
ホームページを
ご覧ください。

Profile

ランドリシナ・ダニエレ ▶ ローマ生まれ。若い頃、日本を訪れたときに、手づくりのものを大切にする文化に触れたのも、革職人への転身のきっかけとなった。製品は笛吹市のふるさと納税返礼品にも採用されている。やまざき・かおり ▶ 東京都生まれ、中学生の時、家族で山梨県に引っ越し、24歳の頃に母親と笛吹市に転居。イタリアからの移住後は、笛吹市内に工房と自宅を構え、充実した日々を過ごしている。